

自民・公明・維新の3党協議(4月17日)で示された¹OTC類似薬の保険給付除外する28有効成分一覧

京都府保険医協会

有効成分名	医療用医薬品 販売名	OTC医薬品 販売名	効能または効果	禁忌	副作用
アシクロビル	ゾピラックス軟膏5%	アクチビア軟膏	単純疱疹	本剤の成分あるいはバラシクロビル塩酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者	皮膚：(0.1%～1%未満)投与部位の刺激感、接触皮膚炎、そう痒、紅斑性発疹、(0.1%未満)投与部位の疼痛、皮膚乾燥、(頻度不明)灼熱感、皮膚薄片剥離 過敏症：(頻度不明)血管性浮腫、蕁麻疹
アシタザノラスト	ゼベリン点眼液0.1%	アレジフェンス	アレルギー性結膜炎	—	過敏症：(0.1%未満)眼瞼皮膚炎、眼瞼炎、(頻度不明)接触性皮膚炎 眼：(0.1～3%未満)眼刺激、眼痛、眼瞼浮腫、(0.1%未満)結膜浮腫、結膜充血、眼充血、角膜炎、流涙増加、眼そう痒症
イソコナゾール	アデスタン腔錠300mg	メンソレータムフレディCC1	カンジダに起因する腔炎及び外陰腔炎	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	腔：(1%未満)刺激感、(頻度不明)疼痛、腫脹感、そう痒感、発赤、熱感
	アデスタンクリーム1%	メンソレータムフレディCCクリーム	下記の皮膚真菌症の治療 ○白癬：体部白癬(斑状小水疱性白癬、頑癬)、股部白癬(頑癬)、足部白癬(汗疱状白癬) ○カンジダ症：指間びらん症、間擦疹、乳児寄生菌性紅斑、爪囲炎、外陰部カンジダ症、皮膚カンジダ症 ○癬風	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	皮膚：(0.1～5%未満)皮膚炎(接触皮膚炎等)、刺激感、発赤、(0.1%未満)小水疱、そう痒感、亀裂、乾燥、腫脹
イトブリド塩酸塩	ガナトン錠50mg	イラクナ	慢性胃炎における消化器症状(腹部膨満感、上腹部痛、食欲不振、胸やけ、悪心、嘔吐)	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) 血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫、蕁麻疹、蒼白、発汗等の症状が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.2 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) AST、ALT、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。 11.2 その他の副作用 過敏症：(頻度不明)発疹、発赤、そう痒感、錐体外路症状：(頻度不明)振戦、内分泌：(0.1～5%未満)プロラクチン上昇、(頻度不明)女性化乳房、血液：(0.1～5%未満)血小板減少、白血球減少、消化器：(0.1～5%未満)下痢、便秘、腹痛、唾液増加、(頻度不明)嘔気、精神神経系：(0.1～5%未満)頭痛、イライラ感、睡眠障害、めまい、肝臓：(0.1～5%未満)AST上昇、(頻度不明)ALT上昇、γ-GTP上昇、Al-P上昇、腎臓：(頻度不明)BUN上昇、クレアチニン上昇、循環器：(頻度不明)動悸、その他：(0.1～5%未満)胸背部痛、疲労感
エビナスチン	アレジオン錠20	アレジオン20	○気管支喘息 ○アレルギー性鼻炎 ○じん麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 肝機能障害、黄疸(頻度不明) AST、ALT、γ-GTP、Al-P、LDHの上昇等の肝機能障害(初期症状：全身倦怠感、食欲不振、発熱、嘔気・嘔吐等)、黄疸があらわれることがある。 11.1.2 血小板減少(頻度不明) 11.2 その他の副作用 過敏症：(0.1～5%未満)発疹、(0.1%未満)じん麻疹、かゆみ、そう痒性紅斑、(頻度不明)浮腫(顔面、手足等)、精神神経系：(0.1～5%未満)眠気、倦怠感、頭痛、めまい、(0.1%未満)不眠、悪夢、しびれ感、頭がボーッとした感じ、(頻度不明)幻覚、幻聴、消化器：(0.1～5%未満)嘔気、食欲不振、胃部不快感、胃もたれ感、腹痛、下痢、口渇、(0.1%未満)嘔吐、胃重感、便秘、口唇乾燥感、腹部膨満感、(頻度不明)口内炎、腎臓：(0.1%未満)蛋白尿、泌尿器：(0.1%未満)尿閉、(頻度不明)頻尿、血尿等の膀胱炎様症状、循環器：(0.1～5%未満)心悸亢進、呼吸器：(0.1%未満)呼吸困難、去痰困難、鼻閉、血液：(0.1%未満)白血球数増加、(頻度不明)血小板減少、その他：(0.1%未満)月経異常、ほてり、にがみ、味覚低下、胸痛、(頻度不明)女性型乳房、乳房腫大
オキシコナゾール	オキシナゾール腔錠100mg	オキシナゾールL100	カンジダに起因する腔炎及び外陰腔炎	本剤及び他のオキシコナゾール硝酸塩製剤に過敏な患者	過敏症：(頻度不明)発疹等、腔・外陰：(0.1～5%未満)発赤、(頻度不明)刺激感、ひりひり感、そう痒感、疼痛等
	オキシナゾール腔錠600mg	オキシナゾールL600	カンジダに起因する腔炎及び外陰腔炎	同上	同上
カルボシステイン	ムコダイン錠500mg	ムコダイン去たん錠Pro500	○下記疾患の去痰 上気道炎(咽喉炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	1.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な措置を行うこと。 11.1.1 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis：TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(いずれも頻度不明) 11.1.2 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) AST、ALT、Al-P、LDHの上昇等があらわれることがある。[9.3参照] 11.1.3 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) 呼吸困難、浮腫、蕁麻疹等があらわれることがある。 11.2 その他の副作用 消化器：(0.1～5%未満)食欲不振、下痢、腹痛、(0.1%未満)悪心、嘔吐、腹部膨満感、口渇、過敏症：(0.1～5%未満)発疹、(0.1%未満)湿疹、紅斑、(頻度不明)浮腫、発熱、呼吸困難、その他：(0.1%未満)そう痒感
クロラムフェニコール	クロロマイセチン軟膏2%	クロロマイセチン軟膏2%A	<適応菌種> 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー <適応症> 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	過敏症：(頻度不明)発疹、接触性皮膚炎、長期連用：(頻度不明)内服、注射等全身投与の場合と同様な症状
ケトチフェン	ザジテンカプセル1mg	ジキナ鼻炎錠	○気管支喘息 ○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症	2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.2 てんかん又はその既往歴のある患者	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。 11.1.1 痙攣、興奮(頻度不明) 乳児、幼児では特に注意すること。[9.7参照] 11.1.2 肝機能障害、黄疸(頻度不明) AST、ALT、ALP、LDH、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。 泌尿器：(頻度不明)頻尿、排尿痛、血尿、残尿感等の膀胱炎様症状、過敏症：(0.1%未満)発疹、蕁麻疹、(頻度不明)浮腫、多形紅斑、精神神経系：(0.1%～5%未満)眠気、けん怠感、口渇、(0.1%未満)めまい、ふらつき、頭痛、味覚異常、しびれ感、(頻度不明)一過性の意識消失、易刺激性、不眠、神経過敏、鎮静、消化器：(0.1%未満)悪心、腹痛、下痢、嘔吐、胃部不快感、食欲不振、便秘、口内炎、肝臓：(0.1%未満)AST、ALT、ALPの上昇、(頻度不明)LDH、γ-GTPの上昇、その他：(0.1%未満)体重増加、鼻出血、(頻度不明)ほてり、動悸、月経異常
	ザジテン点眼液0.05%	ジキナAL点眼薬	アレルギー性結膜炎	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	過敏症：(0.1%～5%未満)眼瞼炎、眼瞼皮膚炎、そう痒感、(頻度不明)発疹、眼部腫脹、眼瞼浮腫、顔面浮腫、眼：(0.1%～5%未満)結膜充血、刺激感、(0.1%未満)角膜びらん、(頻度不明)眼痛、霧視、眼乾燥、結膜炎、羞明、その他：(0.1%～5%未満)眠気、(頻度不明)頭痛、口渇
ピロキシカム	バキシ軟膏0.5%	ピロキシカム液「キョウワ」	下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 変形性関節症 肩関節周囲炎 仙・仙髌炎、仙周囲炎 上腕骨上顆炎(テニス肘等) 筋肉痛(筋・筋膜炎等) 外傷後の腫脹・仏痛	—	11. 2. その他の副作用 1). 皮膚(局所)：(0. 1～1%未満＊)湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒感、(0. 1%未満＊)発赤、発疹、皸糠様落屑。 2). 過敏症：(頻度不明)光線過敏症。 ＊)臨床試験と承認後の使用成績調査を合算した発現頻度。
フェキシソフェナジン	アレグラ錠60mg	アレグラFX	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) 呼吸困難、血圧低下、意識消失、血管浮腫、胸痛、潮紅等の過敏症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.2 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) AST、ALT、γ-GTP、Al-P、LDHの上昇等の肝機能障害、黄疸があらわれることがある。 11.1.3 無顆粒球症(頻度不明)、白血球減少(0.2%)、好中球減少(0.1%未満) 11.2 その他の副作用 精神神経系：(0.1～5%未満)頭痛、眠気、疲労、倦怠感、めまい、不眠、神経過敏、(0.1%未満)悪夢、睡眠障害、しびれ感、消化器：(0.1～5%未満)嘔気、嘔吐、口渇、腹痛、下痢、消化不良、(0.1%未満)便秘、過敏症：(0.1～5%未満)そう痒、(0.1%未満)蕁麻疹、潮紅、発疹、(頻度不明)血管浮腫、肝臓：(0.1～5%未満)AST上昇、ALT上昇、腎臓・泌尿器：(0.1%未満)頻尿、(頻度不明)排尿困難、循環器：(0.1%未満)動悸、血圧上昇、その他：(0.1%未満)呼吸困難、味覚異常、浮腫、胸痛、月経異常
フェルビナク	フェルビナクテープ35mg「三 笠」	エイクリヤーテープFB5%α 温感	下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛	2.1 本剤又は他のフェルビナク製剤に対して過敏症の既往歴のある患者 2.2 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発するおそれがある。]	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等)があらわれることがある。 11.2 その他の副作用 皮膚：(頻度不明)皮膚炎(発疹、湿疹を含む)、そう痒、発赤、接触皮膚炎、刺激感、水疱
フルチカゾンプロピオン酸エステル	フルナーゼ点鼻液50μg 56噴 霧用	フルナーゼ点鼻薬<季節性アレルギー専用>	アレルギー性鼻炎 血管運動性鼻炎	禁忌 2.1 有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症の患者[症状を増悪するおそれがある] 2.2 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者	重大な副作用 アナフィラキシー(頻度不明) アナフィラキシー(呼吸困難、全身潮紅、血管性浮腫、蕁麻疹等)があらわれることがある。 その他の副作用 過敏症：(頻度不明)発疹、浮腫、鼻腔：(0.1%～1%未満)鼻症状(刺激感、疼痛、乾燥感)、鼻出血、不快臭、(頻度不明)鼻中隔穿孔、鼻潰瘍、口腔並びに呼吸器：(0.1%未満)咽喉頭症状(刺激感、乾燥感)、不快な味、精神神経系：(0.1%未満)頭痛、(頻度不明)振戦、睡眠障害、その他：(頻度不明)眼圧上昇

自民・公明・維新の3党協議(4月17日)で示された²OTC類似薬の保険給付除外する28有効成分一覧

京都府保険医協会

有効成分名	医療用医薬品 販売名	OTC医薬品 販売名	効能または効果	禁忌	副作用
プレドニゾン吉草酸エステル 酢酸エステル	リドメックスコーワ軟膏0.3%	新リビメックスコーワ軟膏	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダラル各癬を含む)、痒疹群(固定じん麻疹、ストロフルスを含む)、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症	2.1 細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症及び動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等)[感染を悪化させるおそれがある。] 2.2 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.3 鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎[穿孔部位の治癒の遅延及び感染のおそれがある。] 2.4 潰瘍(ペーチェット病は除く)、第2度深在性以上の熱傷・凍傷[皮膚の再生が抑制され、治癒が遅延するおそれがある。]	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 眼圧亢進、緑内障、白内障(いずれも頻度不明) 眼瞼皮膚への使用に際しては、眼圧亢進、緑内障、白内障を起すことがある。大量又は長期にわたる広範囲の使用、密封法(ODT)により、緑内障、白内障等があらわれることがある。[8.1参照] 11.2 その他の副作用 皮膚の感染症:(頻度不明)皮膚の真菌症(カンジダ症、白癬症等)、細菌感染症(伝染性膿痂疹、毛のう炎等)、ウイルス感染症、その他の皮膚症状:(0.1～5%未満)魚鱗癬様皮膚変化、一過性の刺激感、乾燥、(頻度不明)さ瘡様発疹注2)、酒さ様皮膚炎・口囲皮膚炎(ほほ、口囲等に潮紅、丘疹、膿疱、毛細血管拡張を生じる)注2)、ステロイド皮膚(皮膚萎縮、毛細血管拡張、紫斑)注2)、多毛注2)、色素脱失等注2)、過敏症:(頻度不明)紅斑等の過敏症状、下垂体・副腎皮質系機能:(頻度不明)下垂体・副腎皮質系機能の抑制
ヘパリン類似物質	ヒルドイドクリーム0.3%	ビーソフテンクリーム	血栓性静脈炎(痔核を含む)、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期)	2.1 出血性血液疾患(血友病、血小板減少症、紫斑病等)の患者[血液凝固抑制作用を有し、出血を助長するおそれがある] 2.2 僅少な出血でも重大な結果を来すことが予想される患者[血液凝固抑制作用を有し、出血を助長するおそれがある]	過敏症:(0.1～5%未満)皮膚炎、そう痒、発赤、発疹、潮紅等、(頻度不明)皮膚刺激感、皮膚(投与部位):(頻度不明)紫斑
ロキソプロフェン	ロキシニン錠60mg	ロキシニンS	①下記疾患並びに症状の消滅・鎮痛 関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛 ②手術後、外傷後並びに抜歯後の鎮痛・消滅 ③下記疾患の解熱・鎮痛 急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)	2.1 消化性潰瘍のある患者[プロスタグランジン合成抑制により、胃の血流量が減少し消化性潰瘍が悪化することがある。][9.1.2参照] 2.2 重篤な血液の異常のある患者[血小板機能障害を起こし、悪化するおそれがある。][9.1.3参照] 2.3 重篤な肝機能障害のある患者[9.3.1参照] 2.4 重篤な腎機能障害のある患者[9.2.1参照] 2.5 重篤な心機能不全のある患者[9.1.4参照] 2.6 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.7 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[アスピリン喘息発作を誘発することがある。][9.1.5参照] 2.8 妊娠後期の女性[9.5.1参照]	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック(頻度不明)、アナフィラキシー(頻度不明) ショック、アナフィラキシー(血圧低下、蕁麻疹、喉頭浮腫、呼吸困難等)があらわれることがある。 11.1.2 無顆粒球症(頻度不明)、白血球減少(頻度不明)、溶血性貧血(頻度不明)、再生不良性貧血(頻度不明)、血小板減少(頻度不明)[8.3参照] 11.1.3 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis:TEN)(頻度不明)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(頻度不明)、多形紅斑(頻度不明)、急性汎発性発疹性膿疱症(頻度不明) 11.1.4 急性腎障害(頻度不明)、ネフローゼ症候群(頻度不明)、間質性腎炎(頻度不明) 急性腎障害に伴い高カリウム血症があらわれることがあるので、特に注意すること。 11.1.5 うっ血性心不全(頻度不明) 11.1.6 心筋梗塞(頻度不明)、脳血管障害(頻度不明) 心筋梗塞、脳血管障害等の心血管系血栓塞栓性事象があらわれることがある1)。 11.1.7 間質性肺炎(頻度不明) 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、好酸球増多等を伴う間質性肺炎があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には直ちに投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。 11.1.8 消化性潰瘍(頻度不明)、消化管出血(頻度不明) 重篤な消化性潰瘍又は小腸、大腸からの吐血、下血、血便等の消化管出血が出現し、それに伴うショックがあらわれることがあるので、これらの症状が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.9 消化管穿孔(頻度不明) 心窩部痛、腹痛等の症状が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.10 小腸・大腸の狭窄・閉塞(頻度不明) 小腸・大腸の潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがあるので、悪心・嘔吐、腹痛、腹部膨満等の症状が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.11 劇症肝炎(頻度不明)、肝機能障害(頻度不明)、黄疸(頻度不明) 肝機能障害(黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇等)、劇症肝炎があらわれることがある。 11.1.12 喘息発作(頻度不明) 喘息発作等の急性呼吸障害があらわれることがある。 11.1.13 無菌性髄膜炎(頻度不明) 無菌性髄膜炎(発熱、頭痛、悪心・嘔吐、項部硬直、意識混濁等)があらわれることがある。特にSLEや混合性結合組織病の患者に発現しやすい。 11.1.14 横紋筋融解症(頻度不明) 筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中及び尿中ミオグロビン濃度上昇等が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。また
ロラタジン	クラリチン錠10mg	クラリチンEX	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) チアノーゼ、呼吸困難、血圧低下、血管浮腫等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.2 てんかん(頻度不明)[9.1.1参照] 11.1.3 痙攣(頻度不明) 11.1.4 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) AST、ALT、γ-GTP、ALP、LDH、ビリルビン等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。 精神神経系:(1%以上)眠気、倦怠感、(0.1～1%未満)めまい、頭痛、呼吸器:(0.1～1%未満)鼻の乾燥感、咽頭痛、消化器:(0.1～1%未満)腹痛、口渇、嘔気・嘔吐、下痢、便秘、口内炎、(0.1%未満)口唇乾燥、(頻度不明)胃炎、過敏症:(0.1～1%未満)発疹、(0.1%未満)じん麻疹、(頻度不明)発赤、紅斑、そう痒、皮膚:(頻度不明)脱毛、肝臓:(0.1～1%未満)ALT上昇、AST上昇、ビリルビン値上昇、γ-GTP上昇、ALP上昇、腎臓:(0.1～1%未満)BUN上昇、タンパク尿、循環器:(0.1～1%未満)動悸、(0.1%未満)頻脈、血液:(0.1～1%未満)好酸球増多、白血球減少、好中球減少、単球増多、リンパ球減少、白血球増多、リンパ球増多、ヘマトクリット減少、ヘモグロビン減少、好塩基球増多、血小板減少、好中球増多、その他:(0.1～1%未満)尿酸、眼球乾燥、耳鳴、ほてり、(0.1%未満)味覚障害、月経不順、胸部不快感、(頻度不明)不正子宮出血、胸痛、難聴、浮腫(顔面・四肢)
酸化マグネシウム	マグミット錠330mg	3Aアクアマグ	○下記疾患における制酸作用と症状の改善 胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む) ○便秘症 ○尿路尿酸カルシウム結石の発生予防	—	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。 11.1.1 高マグネシウム血症(頻度不明) 呼吸抑制、意識障害、不整脈、心停止に至ることがある。悪心・嘔吐、口渇、血圧低下、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠等の症状の発現に注意するとともに、血清マグネシウム濃度の測定を行うこと。[8.1、9.1.3、9.2、9.8、13.1、13.2参照] 11.2 その他の副作用 消化器:(頻度不明)下痢等、電解質:(頻度不明)血清マグネシウム値の上昇
イブプロフェン	ブルフェン錠200	イブプロフェン錠200S	①下記疾患並びに症状の消滅・鎮痛 関節リウマチ、関節痛及び関節炎、神経痛及び神経炎、背腰痛、頸腕症候群、子宮付属器炎、月経困難症、紅斑(結節性紅斑、多形渗出性紅斑、遠心性環状紅斑) ②手術並びに外傷後の消炎・鎮痛 ③下記疾患の解熱・鎮痛 急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)	2.1 消化性潰瘍のある患者[プロスタグランジン合成阻害作用による胃粘膜防御能の低下により、消化性潰瘍を悪化させることがある。][9.1.1、11.1.3参照] 2.2 重篤な血液の異常のある患者[血液の異常を更に悪化させるおそれがある。][9.1.3、11.1.2参照] 2.3 重篤な肝障害のある患者[9.3.1、11.1.7参照] 2.4 重篤な腎障害のある患者[9.2.1、11.1.5参照] 2.5 重篤な心機能不全のある患者[心機能不全を更に悪化させるおそれがある。][9.1.5参照] 2.6 重篤な高血圧症のある患者[9.1.6参照] 2.7 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.8 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発させることがある。][9.1.7、11.1.8参照] 2.9 ジドブジン投与中の患者[10.1参照] 2.10 妊娠後期の女性[9.5.1参照]	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明) 胸内苦悶、悪寒、冷汗、呼吸困難、四肢しびれ感、血圧低下、血管浮腫、蕁麻疹等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 11.1.2 再生不良性貧血、溶血性貧血、無顆粒球症、血小板減少(いずれも頻度不明)[2.2、9.1.3参照] 11.1.3 消化性潰瘍、胃腸出血、潰瘍性大腸炎(いずれも頻度不明)[2.1、9.1.1、9.1.2、10.2参照] 11.1.4 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis:TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(いずれも頻度不明) 11.1.5 急性腎障害、間質性腎炎、ネフローゼ症候群(いずれも頻度不明) 乏尿、血尿、尿蛋白、BUN・血中クレアチニン上昇、高カリウム血症、低アルブミン血症等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。[2.4、9.2.1、9.2.2、10.2参照] 11.1.6 無菌性髄膜炎(頻度不明) 項部硬直、発熱、頭痛、嘔気・嘔吐あるいは意識混濁等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。特にSLE又はMCTDの患者に発現しやすい。[9.1.9、9.1.10参照] 11.1.7 劇症肝炎、肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) 劇症肝炎、肝機能障害(黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇等)があらわれることがある。[2.3、9.3.1、9.3.2参照] 11.1.8 喘息発作(頻度不明) 喘鳴、呼吸困難等の症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。[2.8、9.1.7参照] 11.1.9 心筋梗塞、脳血管障害(いずれも頻度不明) 心筋梗塞、脳血管障害等の心血管系血栓塞栓性事象があらわれることがある2)。 11.2 その他の副作用 血液:(頻度不明)血小板機能低下(出血時間の延長)、消化器:(0.1～5%未満)胃部不快感、腹痛、食欲不振、消化不良、嘔気・嘔吐、下痢、(0.1%未満)便秘、(頻度不明)口渇、口内炎、腹部膨満感、肝臓:(0.1～5%未満)ALT上昇、(0.1%未満)ALP上昇、(頻度不明)AST上昇、黄疸等、過敏症:(0.1～5%未満)発疹、蕁麻疹、(0.1%未満)そう痒感、湿疹、(頻度不明)紫斑、感覚器:(頻度不明)霧視等の視覚異常、難聴、耳鳴、味覚異常、精神神経系:(0.1～5%未満)頭痛、眠気、(0.1%未満)めまい、(頻度不明)不眠、抑うつ、循環器:(頻度不明)動悸、血圧上昇、血圧低下、その他:(0.1～5%未満)浮腫、(頻度不明)倦怠感、発熱、鼻出血

3

自民・公明・維新の3党協議(4月17日)で示されたOTC類似薬の保険給付除外する28有効成分一覧

京都府保険医協会

有効成分名	医療用医薬品 販売名	OTC医薬品 販売名	効能または効果	禁忌	副作用
ベタメタゾン吉草酸エステル	バトネバート軟膏0.12%	リンデロンVs軟膏	○湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビタル苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む) ○皮膚そう痒症 ○痒疹群(じん麻疹様苔癬、ストロフルス、固定じん麻疹を含む) ○虫さされ ○乾癬 ○掌蹠膿疱症 ○扁平苔癬 ○光沢苔癬 ○毛孔性紅色秕糠疹 ○シバルバラ色秕糠疹 ○紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリ工遠心性環状紅斑) ○紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む) ○慢性円板状エリテマトーデス ○薬疹・中毒疹 ○円形脱毛症(悪性を含む) ○熱傷(瘢痕、ケロイドを含む) ○凍瘡 ○天疱瘡群 ○ジューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡を含む) ○痔核 ○鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創	2.1 細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症及び動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等)[感染に伴う症状を悪化させるおそれがある。] 2.2 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 2.3 鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎[穿孔部位の治癒が遅れるおそれがある。また、感染するおそれがある。] 2.4 潰瘍(ペーチェット病は除く)、第2度深在性以上の熱傷・凍傷[皮膚の再生が抑制され、治癒が著しく遅れるおそれがある。]	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。 眼圧亢進、緑内障、後のう白内障(いずれも頻度不明) 眼瞼皮膚への使用に際し、あらわれることがある。大量又は長期にわたる広範囲の使用、密封法(ODT)により、緑内障、後のう白内障等があらわれることがある。[8.1参照] 11.2 その他の副作用 皮膚の感染症:(頻度不明)真菌症(カンジダ症、白癬等)、細菌感染症(伝染性膿疱疹、毛のう炎等)、ウイルス感染症、過敏症:(頻度不明)皮膚の刺激感、接触性皮膚炎、発疹、その他の皮膚症状:(頻度不明)ステロイドざ瘡注3)、ステロイド酒さすなわち口囲皮膚炎(口囲、顔面全体に紅斑、丘疹、毛細血管拡張、痂皮、鱗屑を生じる)、ステロイド皮膚(皮膚萎縮、毛細血管拡張)、魚鱗癣様皮膚変化、紫斑、多毛、色素脱失、その他:(頻度不明)下垂体・副腎皮質系機能抑制注4)、中心性漿液性網脈絡膜症
チンク油	チンク油「東海」	チンク油「昭和」P	小範囲の湿疹・皮膚炎、火傷による潮紅	重度又は広範囲の熱傷には使用しないこと。[酸化亜鉛が創傷部位に付着し、組織修復を遅延させることがある。]	過敏症:(頻度不明)過敏症状、皮膚:(頻度不明)発疹、刺激感等
テルビナフィン塩酸塩	ラミシールクリーム1%	ラミシールATクリーム	下記の皮膚真菌症の治療 ○白癬 足白癬、体部白癬、股部白癬 ○皮膚カンジダ症 指間びらん症、間擦疹(乳児寄生菌性紅斑を含む) ○黴風	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	過敏症:(0.1%～5%未満)そう痒症、紅斑、(頻度不明)発疹、蕁麻疹、血管浮腫、適用部位:(0.1%～5%未満)接触皮膚炎、発赤、刺激感、(0.1%未満)鱗屑、落屑、皮膚亀裂、(頻度不明)湿疹、皮膚乾燥、疼痛、色素沈着、皮膚灼熱感
トコフェロール酢酸エステル	ユベラ錠50mg	ファイトE100カプセル	(1)ビタミンE欠乏症の予防及び治療 (2)末梢循環障害(間歇性跛行症、動脈硬化症、静脈血栓症、血栓性静脈炎、糖尿病性網膜症、凍瘡、四肢冷感症) (3)過酸化脂質の増加防止 (1)以外の効能については、効果が無いのに月余にわたって漫然と使用すべきではない。	—	消化器:(0.1～5%未満)便秘、胃部不快感、(0.1%未満)下痢、過敏症:(0.1%未満)発疹
トラニラスト	リザベン点眼液0.5%	ロートアルガードプレテクト	アレルギー性結膜炎	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	過敏症:(0.1～1%未満)眼瞼皮膚炎、眼瞼炎、(頻度不明)接触性皮膚炎(眼周囲)、眼:(0.1～1%未満)刺激感、(頻度不明)結膜充血、眼瞼腫脹、そう痒感
トリアムシノロンアセトニド	オルテクサー口腔用軟膏0.1%	オルテクサー口腔用軟膏	慢性剥離性歯肉炎、びらん又は潰瘍を伴う難治性口内炎及び舌炎。	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。	11.1 重大な副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。 本剤は、使用成績調査等の副作用の発生頻度が明確となる調査を実施していない。 11.1.1 口腔の感染症(頻度不明) 口腔の真菌性及び細菌性感染症があらわれることがある。このような症状があらわれた場合には適切な抗真菌剤、抗菌剤等を併用し、症状が速やかに改善しない場合には使用を中止すること。 11.1.2 下垂体・副腎皮質系機能(頻度不明) 長期連用により下垂体・副腎皮質系機能の抑制をきたすおそれがある。 11.2 その他の副作用 過敏症:(発現頻度不明)過敏症状、その他:(発現頻度不明)口腔内の不快感(しびれ感など)、味覚異常、味覚減退
尿素	バスタロンクリーム20%	セラチナミンコーフ20%尿素配合クリーム	老人性乾皮症、アトピー皮膚、進行性指掌角皮症(主婦湿疹の乾燥型)、足趾部皸裂性皮膚炎、掌蹠角化症、毛孔性苔癬、魚鱗癬	—	皮膚:(頻度不明)びりびり感、疼痛、紅斑、そう痒感、灼熱感、丘疹、落屑
ビダラビン	アラセナーA軟膏3%	アラセナS	帯状疱疹、単純疱疹	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	皮膚:(1%未満)接触皮膚炎様症状、刺激感、そう痒感等
ペボタスチンバシル酸塩	タリオン錠10mg	タリオンAR	<成人> ○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症) <小児> ○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	血液:(0.1～5%未満)白血球数増加、白血球数減少、好酸球増多、精神神経系:(0.1～5%未満)眠気、倦怠感、頭痛、めまい、(頻度不明)頭重感、消化器:(0.1～5%未満)口渇、悪心、胃痛、胃部不快感、下痢、口内乾燥、嘔吐、(0.1%未満)舌炎、腹痛、(頻度不明)便秘、過敏症:(0.1～5%未満)発疹、蕁麻疹、(0.1%未満)腫脹、肝臓:(0.1～5%未満)AST、ALT、γ-GTPの上昇、LDH、総ビリルビンの上昇、腎臓:(0.1～5%未満)尿潜血、尿蛋白、尿糖、尿ウロビリノーゲン、(頻度不明)尿量減少、排尿困難、尿閉、その他:(0.1%未満)月経異常、浮腫、味覚異常、(頻度不明)動悸、呼吸困難、しびれ 14. 適用上の注意